

JA長野厚生連

Vol.
106
2026.Jan

厚生連ながの

KOUSEIREN
NAGANO

Winter

第64回 農村医学夏季大学講座
地域をともにつくる
～災害に強い地域と医療～

若月賞選考委員
行天 良雄 先生

若月賞授賞式

第64回農村医学夏季大学講座 02

当院のやさし医、たのし医、
くわし医、お医者さん 04

こちらナースステーション 06

介護・福祉のひろば 07

旬菜堂 08

健康相談Q&A 09

佐久総合病院
看護専門学校だより 10

トピックス 11



JA長野厚生連



国際協同組合年
協同組合はよりよい世界を築きます

第64回

農村医学 夏季大学講座

佐久総合病院



第64回となる農村医学夏季大学講座が
2025(令和7)年7月18日と19日、佐久市臼田
の佐久総合病院農村保健教育ホール(Web併
用)で開催されました。この講座は、故若月俊一
佐久総合病院名誉総長の名前を冠し、医療・保
健・福祉の第一線で真摯な活動を続けている
信念の方々を顕彰する、若月賞の授賞式ならび
に受賞記念講演と、その時々々の事象をテーマに
据え、講演やシンポジウムなどで議論を深める
農村医学講座の二本柱で構成されています。

第33回若月賞受賞者による講演

2025(令和7)年の若月賞は
3人の方が受賞されました。

熊本学園大学社会福祉学部福祉
環境学科教授の^{なかちしげはる}中地重晴さんは、
環境マネジメント論を専門として、
日本の公害・化学物質による環境汚
染の歴史と現状分析を行い、「有害
化学物質削減ネットワーク」を創
設され、長年その対策を提案されて
きました。受賞記念講演では、私た
ちが豊かな暮らしを求めて、化学物

質に囲まれた生活を送っていること、
化学物質は利益と有害・不利益をも
たらす諸刃の剣であること、過去か
ら今まで化学物質の有害性による
健康被害、公害、環境問題で苦労し
てきたこと、よりよい社会を築くた
めに、化学物質をどう管理してい
くかが問われていること、そのため
には予防原則と代替原則、そして市
民参加が重要であることを述べら
れました。

鹿児島大学名誉教授の^{たなかのぶゆき}田中信用
さんは、高齢化社会を見据え、早く
からリハビリテーション医学に取



り組んでこられました。国立の鹿
児島大学にリハビリテーション医
学講座を開設するため、何度も文
部省(現在の文科省)に足を運ばれ、
ついに許可をえられたお話は感動
的でした。また、温泉医学・温熱医
学を研究し、その新しい成果につ
いても報告されました。

信州大学名誉教授で相澤病院消
化器病センター名誉センター長・肝
臓病センター顧問の^{きよさわけんどう}清澤研道さん
は、世界で初めてC型肝炎の自然
経過を突き止め、肝臓がんとの因
果関係を解明されました。第二次
世界大戦後の混乱期、ヒロポンな
どの覚醒剤静脈注射の蔓延や、生
計を立てるための多数の売血者が
存在するなか、C型肝炎が広がりま
した。戦後の負の遺産ともいうべき
この病気ですが、当初はA型とB
型しかないと考えられていました。
それに該当しないC型肝炎が発見
されたことにより輸血後肝炎がほ
ぼなくなり、薬の治療も行えるよ
うになったことを語られました。



災害に強い地域と医療

今回の夏季大学のテーマは「地域をともしつくる」、サブテーマとして「災害に強い地域と医療」と



しました。一般社団法人危機管理教育研究所^{ごとうたけし}の藤田武志^{ふじたたけし}さんを講師にお招きし、「いのちを守るために、いま私たちができること」として講演いただきました。普段は行政の職員として仕事をしながら、災害が起こった時は、被災地入りし、アドバイザーとして支援を

行うなか、人間の心理として、異常な事態に直面していながら、「大したことにはならないだろう」、「自分は大丈夫だろう」と思い込み、危険や脅威を軽視しようとする「正常化の偏見（正常性バイアス）」が働いてしまうことを強調されました。災害に強い地域とは、お互いを認め合ってお付き合いしている、地域のリスクを全員が知っている、訓練の実施と備えがある、リーダーがいる、他地域からの受け入れが上手であることとされ、自分事として実行できることを考えるようにと話を結ばれました。

地域の力とともに歩む

続いて、特定非営利活動法人ピースウィンズ・ジャパン^{ピースウィンズ}（空飛ぶ^き搜索医療団）の看護師、木下真由香^{きのしたまゆか}さんから、「地域の力とともに歩んだ復興の経過」と題し、「看護師の目線でみた珠洲市の地域力」についてご講演いただきました。災害支援事業として、ヘリコプターや船で被災地に駆けつけ、一秒でもは

やく、一人でも多くの被災者を助ける活動をしている団体ですが、能登半島地震の際、木下さんは急性期の場面だけでなく、その後の地域の復興にも関わり、1年3カ月もの間、現地に長期滞在された経験をお話しされました。その中で、珠洲市の地域力として、世代を超えた交流の場があったこと、気軽に話せる関係性、地域のリーダーの存在などにより、話し合う文化の促進につながったとされ、支援とは「与える」ものではなく、地域の力を引き出し、「共に創る」ものであることを強調されました。



わたしたちにできることは

講座の最後にシンポジウムが行われました。後藤さん、木下さんに加え、佐久医療センター救命救急センター長の田中啓司^{たなかけいじ}医師と、佐久穂町地域包括支援センター係

長で保健師の堀米篤子^{ほりもちあつこ}さんをシンポジストとして、会場を含めて討論しました。田中医師は災害拠点病院の役割とDMAT（災害派遣医療チーム）の活動を紹介、堀米さんは、佐久穂町でも被害が大きかった台風19号災害で、犠牲者を出さずに済んだ、普段からの顔の見える関係性の重要性を話すとともに、実際に高齢者の避難にあたった地区の区長さんや民生委員さんの声を動画で紹介しました。総合討論では、正常性バイアスの克服や、災害時の学生協力の整備、避難所環境の改善や地域住民とのつながりなどについて、活発に意見が交わされました。



当院のやさし医、たのし医、くわし医、 お医者さん

どこか懐かしさを感じます。
現在は子ども4人に恵まれ、同窓同志の妻と群馬県の北軽井沢に住み20年を超えました。前任地である西吾妻福祉病院に開院時から勤務し、勤務地への通勤と東京へのアクセスを考え、土地柄も牧歌的で一目惚れした北軽井沢に住むことを決めました。

Q1 出身地はどこですか

A 神奈川県横浜生まれで、高校卒業まで鎌倉で育ちました。父方はたどると1000年以上前に佐久穂の出であることが分かっています。東信地区は倉澤姓も多く、

の闘病生活を見て育ったこと、母方の実家が、華岡青洲に学び宮城県北で続く外科の医家であることから、弟と共に医師になることを決意しました。診療を行うにあたり、「医者が自分しかいない環境を想定するなかで多くの診療を行うこと」にやりがいを感じ、へき地で望まれて働くために地域医療、総合診療に進もうと決意しました。実際に祖父が診療所で働いている様子を見ていた影響

Q2 医師をめざしたきっかけを教えてください

A 小学生のときに亡くなった父

もあると思います。また、研修医時に妻の出産に立ち会い長女を取り上げたことから、診療範囲の広い産婦人科を軸とした総合診療をめざしました。

Q3 普段の診療に際して心がけていることはありますか

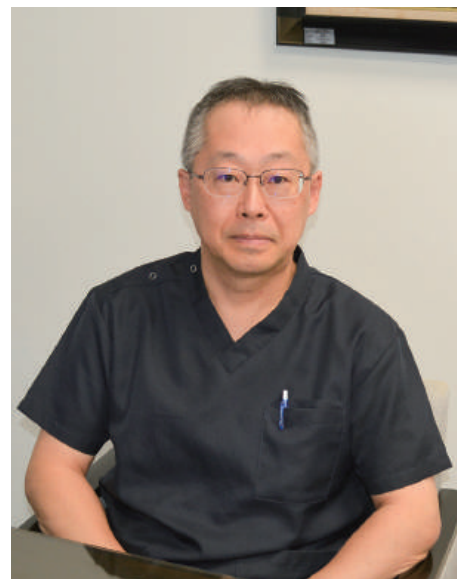
A 普段の診療では、専門的な診療に関わらず、総合診療の観点から診察と評価を行い、無駄のない診療を心がけています。

自治医科大学卒業後、「その場で必要とされる医療を精一杯する」ために、自分の診療範囲を広

げるよう努力し、産婦人科医を専攻しつつ、地域医療をライフワークとし、中小病院、へき地診療所、老人保健施設、保健所など多岐にわたる現場から、多くの経験を積み、産婦人科のみならず、地域では必須の胃カメラや超音波検査に加え、外科、泌尿器科、麻酔科なども実地経験を積みました。

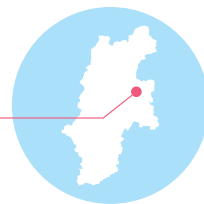
西吾妻福祉病院では当時郡内唯一の分娩取り扱い病院として、小児科医も常勤ではないなか、ひとり産婦人科医、兼泌尿器科医、兼麻酔科医として、ほぼ地域に張り付いた数年間も経験しました。

今回は、浅間南麓こもろ医療センターの倉澤剛太郎先生にお話を伺いました。



浅間南麓こもろ医療センター
産婦人科部長

くら さわ ごう た ろ う
倉澤 剛太郎 先生



略歴

- 1994(平成6)年
自治医科大学卒業
その後各地のへき地など勤務
- 2002(平成14)年1月～
(社)地域医療振興協会西吾妻福祉病院に
開院時より勤務
- 2012(平成24)年4月～
長野県厚生連小諸厚生総合病院
産婦人科部長として勤務 現在に至る

【資格】

- 日本産科婦人科学会専門医
- 母体保護法指定医
- 日本プライマリ・ケア連合学会認定医・指導医
- 総合診療専門研修特任指導医
(当院総合診療専門研修プログラム責任者)
- 臨床研修指導医
- 麻酔科標榜医
- ICD
- 日本医師会認定産業医
- 信州大学医学部臨床准教授



東日本大震災を経て、末娘が3度の入院退院でお世話になった当院が分娩崩壊している状況を聞き、その再興を医師後半人生の仕事と決意し、総合診療の多くを断捨離し、再びひとり産婦人科医体制ですが当院に着任しました。産婦人科は特殊な診療科にみえますが、本人やその家族のライフステージに幅広く関わることができる基本となる診療科であり、魅力を感じています。

2016(平成28)年には「日本の家庭医療の質向上・普及・生涯教育に貢献された方を表彰する 田坂賞(日本プライマリ・ケア連合学会)」を頂くことができ、とても誇らしく思っております。

Q4 浅間南麓こもろ医療センターの良いところを教えてください

A 2012(平成24)年4月に当院に着任し、半年後に最初の出産があり、現在分娩数は1280例を超えました。当院の分娩は年間100例前後ですが、畳スペースをもつLDR(陣痛・分娩・回復期を一体的に行う部屋)で、助産師も寄り添うことから地域の方々から好評です。



▲再開後1000例目分娩のご家族とスタッフの集合写真

2025(令和7)年度より、小諸市出身の当院初期研修医OBが産婦人科医として戻り、ようやく複数体制となりました。顔の見える適度に小さい規模とコミュニケーションの取りやすさ、長く働くスタッフが多数いることが、当院の良いところだと思います。

Q5 趣味や休日の過ごし方、座右の銘など教えてください

A 趣味は、4歳から始め半世紀を超えたバイオリン演奏です。父がギター、母が琴をしていたことがきっかけなのでしょう。産婦人科は時間が不規則で拘束時間が多い反面、待ち時間も多くあり、特にコロナ禍以降、毎日の練習時間が増え、腕も上達したようです(笑)。YouTubeに演奏動画を上げることが日課で、Gotoo Xmasawaチャンネルの登録者は2025(令和7)年12月頭現在267人、動画数は620です。昼休みに病院のホールや付属老人保健施設へ出向いて演奏することもあります。



▲院内芸術祭での合唱団とのVn演奏
旧小諸厚生総合病院内にて



▲Vn演奏近影

座右の銘は「地に足を付けて歩む」です。また、在籍した学校の校訓すべてが内容的に「他者に尽くす」ことであり、血肉になっています。医師は、患者さん、地域などに必要とされてこそ動けるものです。自分で働く場所は自ら選択してきたつもりでも、何かに導かれて歩んで来たのだと思います。自分にできることはしっかりと、そして無理もせず、残りの職業人生を歩みたいと思います。

地域の方へ一言 お願いします

分娩を扱う産婦人科医は、一時期絶滅危惧種と言われております。今はそれ以上に出産数が減っています。当院でも分娩体制の維持は限界が近づいて

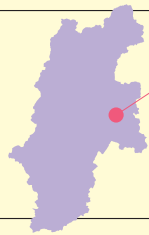
インタビューの一言

地域医療を大切に、地域の皆さまのことを常に考え診療されていることが非常に伝わりました。お話を伺うなかで、先生の穏やかで物腰の柔らかい素敵な人柄に触れることもできました。診療のお話から趣味のお話まで、とても素敵なお話ばかりでした。お忙しいなかありがとうございました。



います。医療人は公共人材資源です。産婦人科に関わらず、医療機関のダウンサイジング、統廃合は今後も進むでしょう。この流れを踏まえて、賢く医療機関を利用し、長く続く体制づくりを地域の皆さまにも共に考えていただきたいと思います。また、骨盤臓器脱の診療と手術を得意としておりますので、お悩みなどございましたらお気軽にご相談ください。

お話をたくさん 聴かせてください



佐久総合病院(本院)
看護師

やま もと み さき
山元 実咲



私が働いている病棟は、総合診療科・腎臓内科・感染症を主に担っており、尿路感染症や誤嚥性肺炎、透析・HIV・COVID-19など、幅広い患者さんを担当します。

入院治療が必要な患者さんは、ADL(日常生活動作)が低下してしまい、治療が終了してもすぐに退院できない場合も少なくありません。そのため、

私たちが医療チームは入院した時点から『どこに退院するのか』『退院にはどんな準備が必要か』など、退院後の生活を見据えて支援を行なっています。

多くの場合、患者さんの介護を担うのはご家族です。退院調整はご家族のご希望や、介護状況を把握することから始まります。看護師だけですべての情報を把握することはできないため、医療ソーシャルワーカー(MSW)や医師との連携が重要です。病棟では入院時より、医師・MSW・リハビリスタッフなど、多職種で患者さん一人ひとりの状態や退院に向けた目標・課題などを話し合います。私はこの病棟で働き、多くの患者さんの退院支援を行なっています。

すが、この連携がなければ、退院支援を行うことはできないと思っています。なぜなら、入院直後からそれぞれの分野で援助・評価を行うことで、患者さんとご家族が安心して退院に向かえるよう支援ができるからです。

退院に向けた課題は患者さんそれぞれであり、一筋縄ではいかない場合も多く、常に試行錯誤の連続です。とても大変な仕事ではありますが、患者さんが笑顔で退院する姿や患者さん・ご家族から「ありがとう」と感謝の言葉をいただいたとき、『この仕事をしてよかった』と心の底から思います。これからも入院時から退院後の生活を見据えた、寄り添う看護を続けていきたいです。

紹介者から



看護師長

こうづ

あずさ

神津 梓

山元さんは、新人スタッフや指導者を含めたチームのリーダーとして、良き相談相手でもあり、皆のロールモデルとなっています。また、患者さんにご家族の思いに耳を傾け、その方の立場に寄り添った看護を大切にしています。

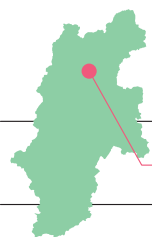
当病棟には、認知症の患者さんも多く入院されていますが、山元さんは、認知症患者さん

とのコミュニケーション方法「ユマニチュード」を自主的に学び、患者さん一人ひとりを尊重したケアを実践しています。

多忙な業務のなかでも、自らの役割を探索し続ける姿勢は、周囲のスタッフに良い刺激となっていますので、今後、益々の活躍を期待しています。

心に寄り添う医療のかたち

医療ソーシャルワーカー (MSW) の役割



南長野医療センター
篠ノ井総合病院

地域医療連携課
社会福祉士

くらしま
れん
倉島 蓮



病気やけがは、体だけでなく、心にも大きな負担をもたらします。突然の発症や急な入院では、本人もご家族も「これからどうなるのだろう」という不安や戸惑いが重なり、心が大きく揺れることがあります。MSWは治療や看護、リハビリをすることはできませんが、だからこそ、本人やご家族の気持ちに寄り添い、心の動きに耳を傾けられる存在でありたいと考えています。

入院中は医療処置や治療の選択など多くのことを短期間に判断しなければなりません。驚きや心配、不安で心の整理が追いつかず、どのようにすればいいのかわからないことがあると思います。そのなかでMSWの役割は制度説明や退院調整をするだけではありません。まずはその不安や葛藤に寄

り添い、丁寧に話を伺うことから始めています。誰にも言えなかった思いを言葉にできたことで、涙がこぼれ、少し楽になったと話される方もいます。

病気やけがは、これまでの日常生活を大きく変化させる状況を引き起こすとともに、本人自身が言葉で気持ちを伝えられないことも起こります。ご家族は本人の代わりに多くの決断を求められ、強い負担を感じることがあります。私はご家族の不安や迷いにそつと寄り添い、一緒に考える時間を大切にしています。

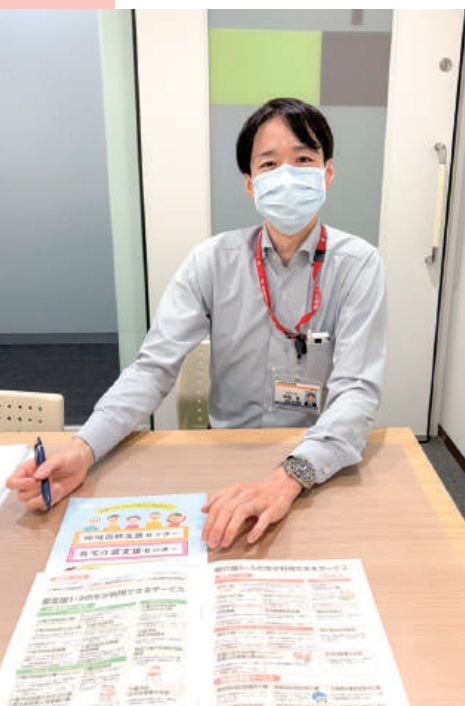
ある患者さんのご家族は、突然の病気で急激な状況の変化に心が追いつかず、「どうしてこんなことに…」と繰り返し涙を流されていました。私はまずはその気持ちを受け止めることから始

めました。時間をかけてお話を伺い、今抱えている不安や希望を整理するなかで、ご家族の表情が柔らかくなった瞬間を覚えています。

支援とは、制度説明や調整をするだけでなく、心の支えになることも含まれているのだと改めて感じました。また、本人が意思を伝えられない状況では、ご家族が「本人ならどう考えるだろう」と悩まれることもあります。想いを代弁するのはなく、「本人らしさ」を一緒に探すことを心がけています。普段の生活や性格、価値観などを振り返り、できる限り本人の意思に近い

選択ができるように支援しています。

MSWは患者さんやご家族の心が揺れるとき、その隣にすることはできます。不安や迷いに寄り添い、これから生活を一緒に考え、安心して次の一歩を踏み出せるように支えること。それが私たちの役割だと考えています。困ったことがあれば、どんな小さなことでも構いません。どうか一人で抱え込まず、お気持ちを聞かせてください。これからも患者さんとご家族に寄り添いながら、安心して生活を送っていただけるように支援してまいります。



▲在宅介護・福祉サービスについて
ご説明しました

J A長野厚生連は、
国産国産に積極的に
取り組んでいます。

旬菜堂



管理栄養士

にしざわ ゆい
西澤 唯

北アルプス医療センターあづみ病院

今回の主たる食材

白菜

秋から冬にかけて旬を迎える白菜。巻きがしつかりしていて、株の切り口の芯部分が白くみずみずしいものが新鮮です。カット済みのものを購入するときは、内側の葉が黄色っぽく先端の葉が固く閉じているものを選びましょう。

食材の栄養価と特徴

白菜の栄養価と特徴

●白菜に多く含まれるカリウムはむくみの予防や血圧調整の働きがあります。カリウムは水に溶けやすいので、スープ（汁物）にして汁ごといただくのが良いでしょう。

白菜の栄養価 (生100g当たり)

エネルギー 14kcal / たんぱく質 0.6g / 脂質 0.1g
食物繊維 1.3g / ビタミンC 19mg / ビタミンK 59μg
葉酸 61μg / カリウム 220mg



レシピ 白菜とツナの煮びたし

調理時間が短く、作りやすいレシピとなっています。ツナ缶の缶汁は魚の旨味が溶け出しているため、汁ごと調理することで調味料が少なくても、さっと煮るだけで白菜に旨味がしみ込み美味しく作ることができます。



1人分の 栄養素

エネルギー : 83kcal
たんぱく質 : 4.2g
脂質 : 5.2g
ビタミンC : 19mg
ビタミンK : 69μg
カリウム : 288mg
食塩 : 0.9g

材料の白菜は
長野県産を
使用しています。



材料 (3人分)

- 白菜 300g
- ツナ缶 70g
- めんつゆ(濃縮3倍) 20ml
- 水 100ml

作り方

- 1 白菜を食べやすい大きさに切る。
- 2 フライパンに水を入れて、火にかけ沸騰したら白菜とツナ缶を缶汁ごと入れる。
- 3 めんつゆを加え1分ほど火にかけたらお皿に盛りつけて完成!

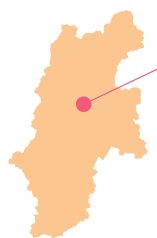
料理のPOINT!

白菜から水分の流出があるため、加える水の量は調整しながら作ってみてください。



健康相談

Q&A



鹿教湯三才山
リハビリテーションセンター
鹿教湯病院
保健師
つち や なぎさ
土屋 渚



❄️ 冬のお風呂は気をつけて! ~ヒートショックを防ごう~

寒い時季、よく話題となるのが「ヒートショック」。特に入浴時には注意が必要です。予防のポイントをおさらいして、安心安全なお風呂タイムを過ごしましょう。

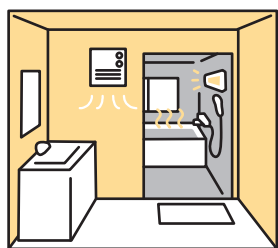
Q 「ヒートショック」とは…?

急激な温度変化が身体に影響を与えるものです。心筋梗塞や脳血管障害につながりやすい危険な状態です。

Q どんなことに気をつけると良いの?

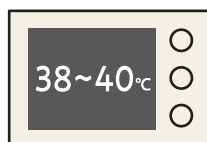
① 脱衣所・浴室を暖かくする

脱衣所はあらかじめ暖房器具で暖かくしておき、浴室内は浴槽のフタを開け、入浴時にお湯で洗い場を流してヒヤッとしないように心がけましょう。



② お湯の温度に注意→ 38~40℃位が良い

42~43℃の熱い湯は心臓にかなりの負担がかかりますと言われています。



③ 「かけ湯」を習慣に

手や足など、心臓に遠いところから少しずつお湯に慣れさせましょう。



Q ヒートショックのほかに、お風呂の注意ポイントがありますか?

① 食事・飲酒直後の入浴は避ける→食後1時間以上経ってから

食事のすぐ後は血液が消化器官(胃や腸など)に集まり、飲酒は血管を広げるため、一時的に血圧が下がりやすい状態となります。ふらつき・転倒に注意しましょう。



② 入浴前後に十分な水分補給を

汗をかくことで脱水になりやすいので、コップ1杯以上の水やお茶を摂りましょう。特に入浴前は意識して摂るようにしましょう。



佐久総合病院

看護専門学校だより



佐久総合病院
看護専門学校

2年生 2025 (令和7) 年度 65期生「宣誓式」

2025 (令和7) 年9月18日に令和7年度65期生宣誓式が举行されました。今年度は熱中症対策の観点から、本校の体育館ではなく、佐久総合病院の教育ホールをお借りして開催しました。

2年次の「看護過程実習」という単位を取得した学生が、宣誓式に出席することができます。今年度は65期生36人が宣誓式を迎えることができました。看護過程実習では初めて患者さんを受け持ち、看護過程を展開し、個別性のある看護を提供することを学びます。グループメンバーや家族の励ましと共に乗り越えることができました。

宣誓式は、ろうそくに灯火を灯して今後の看護師としての自覚と覚悟を持つ誓いを述べます。看護学校の誓詞のほかに、学生が自ら考えた誓いの言葉が高らかに会場内に響いていました。また、ご臨席された佐久市長からは祝辞をいただき、当校の校歌である「白衣の道」の歌詞に注目され、尊き職を志し、誇りとするということがまさに看護学生がめざす道を表していると仰いました。



65期生宣誓式



宣誓式 3年生の先輩から
コーサージュをいただきました

12月の領域実習に向けて、宣誓式の誓いの言葉を胸に秘め、看護師をめざす者として自覚を持って頑張ってもらいたいと思います。

3年生 統合実習終了！

11月26日、3年生は統合実習が終了し、3年間1,035時間にわたる実習を終えました。統合実習では、夜勤実習も実施されます。準夜勤のほか、深夜勤も経験できる看護学校は珍しいです。最終日は病棟の指導者さんも来てくださり、それぞれの病棟で学んできたことを発表しました。活発な質疑応答もみられ、最後の学びを深めることができました。また、玄関には教職員、実習指導者さんや、卒業生からの労いのメッセージが掲示されました。



統合実習最終日の様子



統合実習最終日
(病棟指導者さんとの写真)

なお、今年度の領域実習の中では、北アルプス医療センターあづみ病院にご協力いただき、精神領域の実習を実施することができました。3年生にとって良い経験となりました。

看護師になるための最後の関門である国家試験が間近に迫ってきました。実習が終了後は、国家試験に向けての学習が一層深まります。夢の看護師まであともう少しです！

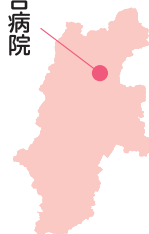
同窓会より

看護学校のホームページ内に同窓会バナーを開設いたしました。これまで3年毎に同窓会ニュースなどを郵送していましたが、今後はこちらに移行していきますので、ご承知ください。



癒しの空間の提供 —音楽を楽しむ時間—

長野松代総合病院



当院では「癒しの空間づくり」に力を入れています。その一環で、患者さんやそのご家族が音楽を楽しむことができるコンサートを開催しています。

昨年9月には、毎年夏に松本市で開催されている『セイジ・オザワ松本フェスティバル』の関連事業である「特別出前コンサート」



▶特別出前コンサートの様子。優雅で透き通った音色が響き渡り、病院にいたことを忘れてしまうようなひとときでした



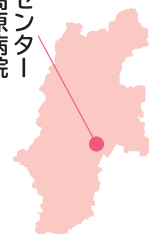
◀ロビーコンサートに参加した患者さんからは「素敵な音楽を聴いて元気が出了た」などの声が聞かれました

を開催しました。出演者有志が県内各地の福祉施設や医療機関などに出向いて演奏を行う企画です。今回は松本市の福祉施設と当院で開催し、小澤音楽塾オーケストラに所属する演奏者5人が、入院患者さんやそのご家族など約160人を前に全4曲を演奏しました。

また昨年10月には、正面玄関ホールで「ロビーコンサート」を5年ぶりに行いました。ピアノ奏者の亀山薫さんとトロンボーン奏者の新山久志さんが、秋にちなんだ日本の名曲やクラシック曲を披露しました。

どちらのコンサートも、迫力のあるプロの演奏を間近で楽しんだ皆さんから、大きな拍手が送られました。

インドネシア出身の看護師アンディさんが、「手術看護実践指導看護師」の認定を取得しました

富士見高原医療福祉センター
富士見高原病院


当センターでは、インドネシアおよびバトナムとの経済連携協定(EPA)に基づき、医療、看護、介護技術の発展への国際貢献および、異文化への理解を深めるために、2008(平成20)年から看護師・介護福祉士候補生の受け入れと養成を行なっています。今回、EPA看護師候補生として2012(平成24)年に看護師国家試験に合格したインドネシア出身のアンディプラセティヨさんが、日本手術看護学会の「手術看護実践指導看護師」の認定を取得しました。この認定制度は、手術看護の質の保証・実践力の向上・チームの指導的役割を担う方を学会が認定する制度です。申請には、



▲認定取得を喜ぶ所属長の手術室師長 高木寛恵(たかぎともえ)さん(向かって左)とアンディプラセティヨさん(向かって右)

2025年は国際協同組合年です

国連は、1957年を国際地球観測年と定めたことをスタートに、毎年何らかの「国際年」を設けています。これは、世界に共通する重要なテーマについて、各国や世界全体が1年を通じて呼びかけや対策を行おうとするものです。



国際協同組合年

協同組合はよりよい世界を築きます

2025年は「国際協同組合年」と定められました。協同組合をもっと盛んにして、SDGs(持続可能な開発目標)をもっと現実のものとするために、国連は協同組合を評価、重視し、期待を寄せています。

日本国内の協同組合においても事業・活動をさらに発展させ、協同組合に対する認知度を高めていく絶好の機会と捉え、政府や関係者と協力しながら、この機会を生かしていきたいと考えています。国際協同組合年は、協同組合の事業を利用する方、活動に参加する方、そして働く方を広げるチャンスとも言えます。

厚生連医療について

厚生連医療は、全国厚生農業協同組合連合会(厚生連)が提供する医療サービスです。厚生連は、農業協同組合(JA)の一部として、地域医療の提供に努めています。

厚生連医療の特徴

- 地域密着型医療：地域住民の健康を守るため、地域に根ざした医療サービスを提供します。
- 総合的な医療サービス：病院、診療所、介護施設などを運営し、総合的な医療・介護サービスを提供します。
- 予防医療の推進：健康診断や予防接種など、予防医療にも力を入れています。
- 協同組合の理念に基づく運営：協同組合の価値と原則に基づき、公正で平等な医療サービスを提供します。

厚生連医療は、地域社会の健康と福祉を支える重要な役割を果たしています。



2025国際協同組合年全国実行委員会
事務局：一般社団法人 日本協同組合連携機構

RECRUIT 01

医師募集

私たちと一緒に、地域医療を実践しませんか。

RECRUIT 02

看護師募集

夢が実現できる看護職のキャリア形成を支援します!!

RECRUIT 03

薬剤師・医療技術職 随時募集中

お問い合わせは下記または各病院まで

長野県厚生農業協同組合連合会 人事部 人材育成課

〒380-0826 長野県長野市南長野北石堂町1177番地3 (JA長野県ビル10階)

☎026-236-2305 ✉saiyo@kou.nn-ja.or.jp 📠026-236-2307



地域医療を担う
メンバーとして
共に歩んでみませんか



編集後記

1年があっという間にすぎ、新たな年を迎えました。昨年を振り返るとともに、今年はどんな素敵な出来事や出会いがあるのか、心躍らせる毎日でございます。皆さまにとっても素敵な1年となりますように。(S・I)

「厚生連ながの」の感想をお聞かせください。

JA長野厚生連 本所「厚生連ながの」係

〒380-0826 長野県長野市南長野北石堂町1177番地3 (JA長野県ビル)

FAX:026-236-2307 E-mail:info.honsyo@kou.nn-ja.or.jp



JA長野厚生連 facebookのご案内

当会の活動や情報など、随時情報発信しています。ぜひ、ご覧ください。

●佐久総合病院 ☎0267-82-3131
佐久医療センター ☎0267-62-8181
小海分院 ☎0267-92-2077
●浅間南麓こども医療センター ☎0267-22-1070
●北アルプス医療センター
あづみ病院 ☎0261-62-3166

●長野松代総合病院 ☎026-278-2031
附属若穂病院 ☎026-282-7111
●北信総合病院 ☎0269-22-2151
●鹿教湯三才山リハビリテーションセンター
鹿教湯病院 ☎0268-44-2111

●南長野医療センター
篠ノ井総合病院 ☎026-292-2261
新町病院 ☎0266-262-3111
●富士見高原医療福祉センター
富士見高原病院 ☎0266-62-3030

●下伊那厚生病院 ☎0265-35-7511
●長野PET・画像診断センター ☎026-269-0550
●健康管理センター ☎0267-82-2677
●佐久総合病院看護専門学校 ☎0267-82-2474
●JA長野厚生連 本所 ☎026-236-2305

https://nagano-kouseiren.jp

